

まかせて安心!! 電気保安のパートナー

お客さまのための

〈第69号〉

電気と管理

一般社団法人 東北電気管理技術者協会

地震による電気火災対策!

東日本大震災における本震による火災全111件のうち、原因が特定されたものが108件。そのうち54%が **電気関係の出火**でした。



©ウンボボ

地震が電気火災を引き起こすのですか?

地震の揺れに伴う電気機器からの出火や、停電が復旧した時に発生する火災のことです。

地震による電気火災の事例①

地震発生で停電に。棚の雑誌や洗濯物が電気ストーブ周辺に散乱。

停電状態から復電し、電気ストーブが通電。

紙や衣類に着火、火災発生。

地震による電気火災の事例②

家具が転倒し、電気コードの挟まれや引張で損傷。

停電状態から復電の瞬間、電気コードがショート。

近くの燃えやすいものに着火。



©ウンボボ

どうすればいいの?

感震ブレーカーが効果的です。感震ブレーカーは、地震を感知すると自動的にブレーカーを落として電気を止めます。

感震ブレーカーの種類

①分電盤タイプ (内蔵型)

分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを遮断。

②分電盤タイプ (後付型)

分電盤に感震機能を外付けするタイプで、漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能。

③コンセントタイプ

コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断。

④簡易タイプ

ばねの作動や重りの落下によりブレーカーを落として、電気を遮断。

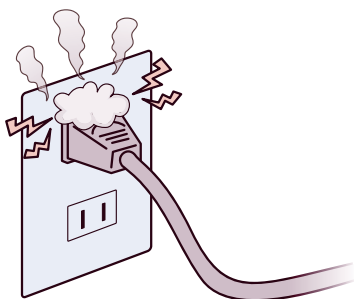
詳しくは、電気管理技術者又は電気工事店にお尋ねください。

電気火災や電気事故を防ぐために 電気は正しく使いましょう！

暮らしに欠かせない便利な電気ですが、間違った使い方や壊れた電気器具は感電や火災の原因になります。冬は暖房器具も使うので注意しましょう。また、素人工事も危険です。電気は正しく安全に使いましょう。

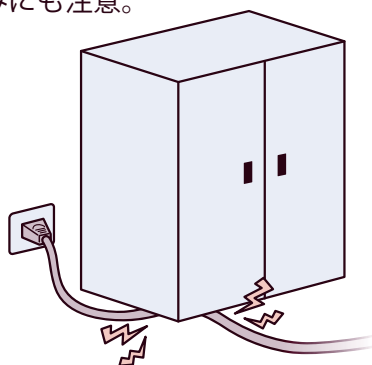
トラッキング火災に注意！

コンセントに長期間差し込んだプラグに、ほこりがたまるとプラグの極間に微小電気が流れ続けて発火することがあります。冷蔵庫や家具の裏にあるコンセントは時々掃除しましょう。



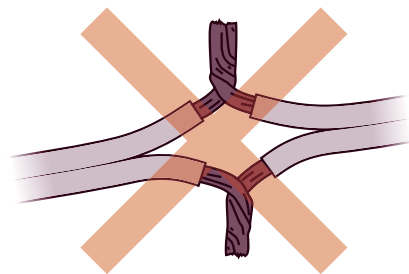
電気コードの挟み込みに注意！

家具などの下敷きになっていたり、踏みつけられて電気コードが傷つき、ショートや漏電の原因になります。ドアへの挟み込みにも注意。



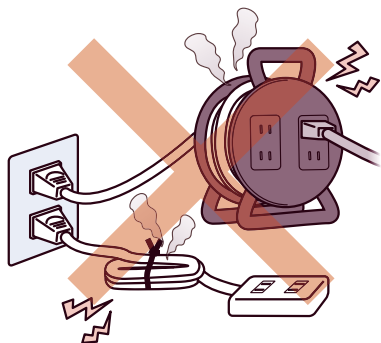
ねじり接続はやめましょう！

電気コードの芯線をねじっただけの接続をすると、発熱や発火の恐れがあります。素人工事は危険です。（電線の接続や配線器具の取り付けには電気工事士の資格が必要です。）



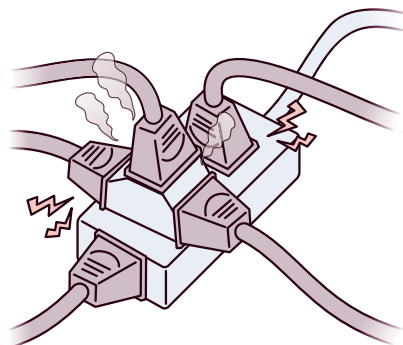
電気コードは伸ばして使いましょう！

電気コードを束ねたまま使用すると、発熱や発火の恐れがあります。電工ドラムも巻いたまま使用すると発熱や発火の恐れがあります。



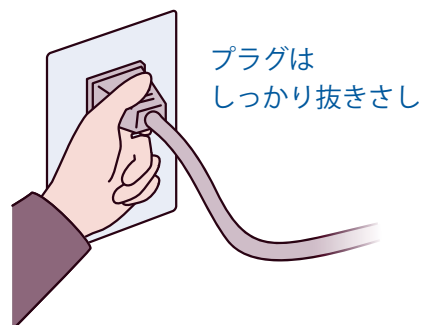
タコ足配線はやめましょう！

テーブルタップに沢山のプラグを差し込んで使用すると定格電流を超えて、発熱や発火の恐れがあります。テーブルタップの容量は1200Wか1500Wです。容量を確認しましょう。



電気コードを引っ張るのはやめましょう！

電気コードをコンセントから抜くときはプラグをしっかりと持って抜きましょう。コードを引っ張ると断線やショートの恐れがあります。



濡れた手で電気器具を触るのは危険です。感電の恐れがあります。

壊れたコンセントや電気器具は感電や漏電の恐れがあります。電気工事店に修理を依頼しましょう。